

# 同志社大学

## 2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年3月22日提出

所 属	職 名	氏 名
高等研究教育機構	助教	上田 光明
研 究 題 目	アジアにおける犯罪学理論の総合的検証の試み	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本年度の主な研究成果は以下のとおりである。</p> <p>1) 2014年6月に第6回アジア犯罪学会大会の全体会において、欧米で提唱された犯罪学理論のアジアの犯罪・非行への適用可能性に関する報告を行った。また、この学会で知己を得た香港城市大学人文社会科学院副院長の Dennis S. W. Wong 教授が2015年1月に自分のゼミの学生32名を引き連れて本学を訪問し、本学経済学部教授八木匡先生と共に彼らに講義を行った。八木先生の報告タイトルは「Creative Economy」、当方は「Social Determinants of Fear of Crime in Japan」であった。両名の講義とも円滑に行われ、香港城市大学の学生からも精力的な質問がなされた。</p> <p>【参考文献】 Ueda, Mitsuaki, "The East meets the West: Different styles of socialization between Western cultures and East Asian cultures.", Preliminary Program and Abstracts of Asian Criminological Society 6th Annual Conference, pp.19-20</p> <p>2) 2014年8月にニュージーランド・オークランド大学で Dr. Bruce Cohen らによる犯罪学セミナーへ参加し、同大学犯罪学スタッフである James Olesen 講師と今後の共同研究について打ち合わせを行った。</p>	